



平泉スマートIC駐車場で初開催 熱気球係留搭乗体験会

一関・平泉バルーンフェスティバル実行委員会は11月6日、熱気球係留体験搭乗会を平泉スマートIC(インターチェンジ)駐車場で開催しました。町が整備したスマートIC駐車場の有効活用を図ろうと、実行委に開催を打診し初めて開催。午前7～9時に、町内外の23組55人が体験しました。家族で搭乗した平泉小学校6年の菊地杏さん(9区)は「上から見た景色、紅葉がきれいだった」と満喫しました。



「よくここまで生きてなあ」と笑顔見せる 佐藤誠さん(13区)が100歳迎える

13区在住の佐藤誠さんは10月25日、100歳の誕生日を迎え、家族らから祝福を受けました。同日に青木町長から花束と記念品を受け取った佐藤さんは「よくここまで生きてなあ」と話し、笑顔を見せました。佐藤さんは長島地区出身で、町職員を経て昭和47～58年に町収入役を務めました。子1人、孫3人、ひ孫3人に恵まれ、現在は自宅周辺の散歩が日課です。昨年までは「いきいき百歳体操」にも3年間継続して参加しました。



需要喚起や原材料・物価高騰への支援を 平泉商工会が町長に要望

平泉商工会(高橋幸喜会長)は11月16日、商工業振興対策として6項目の要望を町に行い、需要喚起や原材料・物価高騰などへの支援を求めました。同日は高橋会長=写真中央=ら3人が役場を訪問。高橋会長は昨今の経済情勢に触れ「円安や燃料費の高騰などが事業所に響いている。支援をいただければ」と語り、青木町長に要望書を手渡しました。青木町長は「要望の内容を精査し、前向きに検討したい」と応じました。



園児が感謝の気持ちを育む 長島保育所で「人権の花運動」

長島保育所で10月25日、人権の花運動のプランターの片付けが行われました。秋晴れの下、年長児が人権擁護委員とともに、プランターの土を片付け、ブラシを使って一生懸命に水洗いしました。6月から約5カ月にわたり、水やりなど花の世話をしながら日々観賞してきた園児たち。来年も美しい花が咲くよう、感謝の気持ちを込めて作業しました。

仕事と子育てが両立できる社会へ 平泉男女共同参画サポーターの会が講演会

平泉男女共同参画サポーターの会(千葉裕子会長)は11月19日、町内に工場を構える株式会社長島製作所の新宮由紀子社長らを招いて町学習交流施設「エピカ」で講演会を開催しました。講演会には町内外の約50人が出席。新宮社長は、自ら働きながら子育てをした経験から「次世代の女性たちに同じ思いをさせたくないと感じ、子育てしやすい組織作りを進めている」と語りました。



町内外の団体が華麗な舞を披露 文化遺産センターで南部神楽鑑賞会

南部神楽を伝承する県南地域の5団体が出演する南部神楽鑑賞会が10月29日、平泉文化遺産センターで開かれました。町内からは郷土芸能体験講座を受講する小中学生と達谷窟毘沙門神楽が出演し、それぞれ「御神楽」と「月見坂の危難」の演目を披露しました。天気にも恵まれ、訪れた観客は、団体ごとに特色のある華麗な舞いに見入っていました。



千葉一男さんが瑞宝単光章を受章 「受章は皆さんのおかげ」元町消防団第4分団長

令和4年秋の叙勲で、元町消防団第4分団長の千葉一男さん(6区)が瑞宝単光章(消防功労)を受章し、11月21日に役場を訪れ、青木町長に受章を報告しました。千葉さんは昭和50年に町消防団に入団。平成25年3月に退団するまで、38年間にわたって地域社会の安寧に寄与しました。千葉さんは「(受章は)地域や団員の皆さんのおかげでうれしく思う。今後も地域のことに協力していきたい」と語りました。



県老人クラブ連合会長表彰受ける 前町老人クラブ連合会長の岩淵嘉明さん

前町老人クラブ連合会長の岩淵嘉明さん(17区)は、長年にわたり老人クラブの育成や充実に貢献したとして、県老人クラブ連合会長表彰を受賞しました。岩淵さんは17区長などを経て、平成28年4月～令和4年3月に町老連会長を務め、町内関係団体のまとめ役として尽力しました。11月1日に受賞を青木町長に報告し「町のために何かできないかとの思いを持って活動してきた。今後も地域のために頑張りたい」と話しました。